

2019年 関西元気文化圏賞 贈賞理由



関西元気文化圏推進協議会

大賞

も ず ふる いち こ ふん ぐん せ かい い ざん ほ ぞん かつ よう かい ぎ
百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議
(大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市)

2011年5月にそれぞれの知事と市長をトップとして設立され、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録実現をめざした取り組みを進めてきた。8年に亘る積み重ねの結果、2019年7月に開催された第43回世界遺産委員会にて登録が決定。本会議は大阪府内では初めてとなる世界文化遺産登録に大きく貢献した。今回の登録は、日本の歴史文化を伝える古墳群の価値を内外に示すもので、関西がより一層世界に知られる契機になると期待される。



百舌鳥エリア (堺市提供)



古市エリア (堺市提供)

特別賞

ひら た おり ざ
平田 オリザ

城崎国際アートセンター(舞台芸術を中心とした滞在型の創造活動の拠点芸術監督)として、兵庫県豊岡市の観光文化・教育に携わり、2019年9月には「第0回豊岡演劇祭」を開催。演劇祭を契機に拠点間移動システムを導入し、実証実験に取り組むなど、地域課題に合わせたスマートシティの実現を目指しながら地域活性化に努めている。今後も関西から若き演劇家の育成や文化振興など更なる地域活性化への貢献が期待されている。



ニューパワー賞

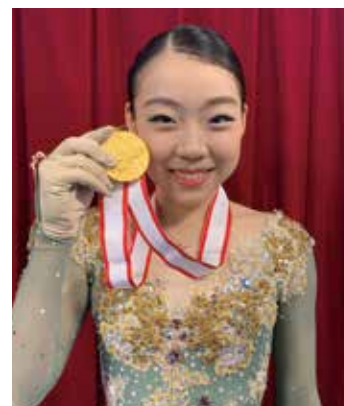
なか むら すみれ
仲邑 董

大阪府大阪市在住、10歳。日本棋院関西総本部所属。日本棋院の英才特別採用推薦棋士第1号として入団し、日本棋院所属の棋士としてプロ入り最年少記録を樹立。その後も公式戦勝利などの最年少記録を次々に更新。その活躍は囲碁にとどまらず、大阪府警の1日署長や特殊詐欺防止ポスターのモデル起用など、関西から明るい話題を提供している。これからのますますの活躍が期待される。



き ひら り か
紀平 梨花

兵庫県西宮市出身、17歳。関西大学K F S C所属。2019年12月の全日本フィギュアスケート選手権にて圧巻の演技で初優勝。ジュニア時代には、女子史上初となる6種類の3回転ジャンプに成功。シニアに移行した2018-19シーズンでは4大陸選手権などの国際大会で優勝するなど、目覚ましい活躍が続いている。今後の更なる活躍が期待される。



ちかもと こうじ
近本 光司

兵庫県淡路市出身。25歳。阪神タイガース入団の2019年シーズンにおいて、開幕からスタメン出場を果たし、シーズン159安打のセ・リーグ新人最多安打記録をマーク。また、36盗塁を記録し、新人として2001年の赤星選手以来、史上2人目の盗塁王を獲得。13試合連続安打の球団新人記録など素晴らしい成績を収めた。来シーズン以降も持ち前の俊足や打撃力を活かしたプレーでチームを牽引する選手として活躍が大いに期待される。

